

観 光 企 画 課

平成 18 年は、平成 25 年に控えた第 62 回神宮式年遷宮の行事の一つで、伊勢市の無形民俗文化財である「お木曳行事（第一次）」が 5 月から 7 月に地元市民及び全国から応募された一日神領民により、厳粛且つ盛大に執り行なわれた。

また、国においては、訪日外国人旅行者を拡大するため「ビジット・ジャパン・キャンペーン」を推進しており、平成 18 年には過去最高の 733 万人（前年比 9.0% 増）を迎え好調な伸びを維持している。

三重県全体の観光入込み客数は 3,292 万人で、前年に比べ 144 万人(4.6%)の増加となっており、県内全域で取り組んだ、(社)三重県観光連盟の三重「食」紀行～三重の街道をゆく～観光キャンペーンの効果などが考えられている。

当市における平成 18 年の伊勢神宮内宮・外宮の入込み客数は、629 万人で前年と比べて約 64 万人(11.2%増)の増加となっている。この要因としては、お木曳行事がはじまったことや、三重県・伊勢志摩地域・近畿日本鉄道(株)と共同で実施した「伊勢志摩キャンペーン」をはじめ、「平成のお蔭参り事業」や三重県観光販売システムズとタイアップした「はじまりのまち伊勢」誘客戦略推進事業の効果が考えられる。

近年、観光を取り巻く環境は、旅行ニーズの多様化・小グループ化への傾向が顕著になっており、時代の変化に対応した観光振興策が期待されている。

もてなし心醸成事業関係

1 低床バス導入補助金

伊勢・鳥羽地域の観光施設等を快適に移動できるCANバスに低床バス(ノンステップバス)を昨年に続き導入するため、国と共同で補助を行った。

これにより、高齢者や身体障がい者の移動の利便性及び安全性の向上を図り、伊勢志摩地域のイメージアップに繋がった。

事業主体：三重交通

補助金：伊勢市(1,200 千円) 鳥羽市(800 千円)

観光施設管理運営事業関係

平家の里キャンプ村及び農林漁業体験実習館等の平家の里利用施設の管理運営については、9 月 1 日から指定管理者制度の導入により「伊勢市矢持平家の里振興会」が引き続き、指定管理者として同施設の管理運営を行なった。

1 平家の里キャンプ村(昭和 57 年度整備)

恵まれた環境のもと、自然活用型の平家の里キャンプ村を 7 月 1 日～8 月 31 日までオープンし、

地元振興会に管理運営を委託した。

- (1) 委託金額 3,184,000 円 (4月～8月) 委託料
340,000 円 (9月～3月) 指定管理料

(2) 利用状況

区分 月別	ロ ッ ジ		毛 布		テ ン ト		毛 布		計
	件数	金 額	枚数	金 額	件数	金 額	枚数	金 額	
7	棟 47	円 242,050	枚 78	円 15,600	張 5	円 5,150	枚 0	円 0	円 262,800
	人 226				人 14				
8	60	309,000	130	26,000	11	11,330	8	1,600	347,930
	298				36				
合 計	(31)	(159,650)	(61)	(12,200)	(16)	(16,480)	(8)	(1,600)	(189,930)
	107				16				
	524				50				

(注) ロッジ 17 棟のうち、5 棟が市、12 棟が地元振興会の所有であり、() は市の収入で内数とする。

利用者内訳・・・【ロッジ】市内 132 人 (25%) ・県内市外 211 人 (40%)
県外 181 人 (35%)

【テント】市内 (14 人) ・県内市外 (9 人) ・県外 (27 人)

2 農林漁業体験実習館 (昭和 61 年度整備・新農業構造改善事業)

四季の織り成す自然との共生の中で、自然と触れ合える各種事業を実施するため、農林漁業体験実習館の運営を地元振興会に委託した。

- (1) 委託金額 1,265,000 円 (4月～8月) 委託料
1,183,000 円 (9月～3月) 指定管理料

(2) 利用状況

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
研修・作業室	2	1	2	2	4	0	1	0	1	2	3	4	22
調理実習室	0	0	1	2	2	0	0	0	0	1	0	2	8
会議室 (1)・ (2)	0	0	2	1	1	0	0	0	0	1	0	2	7
シャワー室	0	0	0	2	2	0	0	0	0	1	0	0	5
冷暖房	0	0	0	1	4	0	0	0	0	1	0	0	6
合 計	2	1	5	8	13	0	1	0	1	6	3	8	48

(3) 使用料収入

区分 月別	施設使用料		
	件数(件)	利用者(人)	金額(円)
4月	2	150	11,140
5月	1	50	1,440
6月	3	148	16,790
7月	3	128	27,160
8月	4	192	60,000
9月	0	0	0
10月	1	17	1,440
11月	0	0	0
12月	1	14	2,160
1月	2	20	12,780
2月	3	29	2,880
3月	4	147	31,280
合計	24	895	167,070

3 平家の里ふれあい体験事業

平家の里の四季折々における自然とのふれあいの中で、体験観光事業を推進し、参加者の福祉健康に資するとともに、あわせて矢持地区の活性化を図るため、イベントを実施した。

日時	事業名	参加人数(人)
11月25日(土)	陶芸体験(器づくり)	5
12月16日(土)	炭焼き体験	36
2月3日(土)	陶芸体験	10
2月17日(土)	炭焼き体験	37
3月10日(土)	古道と工房めぐり	60
合計	5事業	148

コンベンション誘致推進事業関係

1 (社)伊勢志摩観光コンベンションへの参画

伊勢志摩地域への誘客による活性化のため、(社)伊勢志摩観光コンベンション機構(平成6年3月設立、平成14年11月名称変更、平成18年4月社団法人化)に参画し、伊勢志摩への集大会・会議・展示会・イベント等のコンベンション誘致、伊勢志摩地域の情報発信に向けた観光事業・FC事業を展開した。

(1) (社)伊勢志摩観光コンベンション機構支援集大会実績(伊勢市内開催分)

16件 延34,531人

コンベンション大会名	開催日	会場	延参加者数 (人)
2006年中部日本ダンス選手権大会 2006年中部日本プロ・アマ級別ダンス競技大会	4/16	サンアリーナ	300
正洲会創立50周年記念吟剣詩舞道大会	4/30	伊勢市観光文化会館	1,330
ライオンズクラブ国際協会334-B地区大会	5/14	サンアリーナ	1,400
第3回ネオクリエーション2006	6/9~10	サンアリーナ	2,400
第8回ユニットケア全国セミナー	7/1~2	サンアリーナほか	3,000
第58回中部卓球選手権大会	7/22~24	サンアリーナ	5,400
第28回東海中学校総合体育大会	8/8~9	サンアリーナ	3,600
第11回中日本クラブバスケットボール選手権大会	9/30~10/1	サンアリーナ	1,501
第22回神宮奉納全日本ソフトテニス大会	10/21~22	伊勢市市営庭球場	1,000
全国なぎさシンポジウム in みえ	10/26~27	伊勢市観光文化会館	1,300
第38回全国商工会議所女性会連合会三重全国大会	11/21~22	サンアリーナ	7,000
第25回伊勢志摩中日ウォーキング大会	11/26	伊勢志摩スカイライン	1,300
第11回里帰り伊勢音頭全国大会	11/26	伊勢市観光文化会館	1,000
第23回お伊勢さん健康マラソン大会	12/3	伊勢神宮内宮・外宮間	1,000
第4回セント・パトリックスデーパレード伊勢	3/10	外宮前ほか	300
第18回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会	3/26~28	サンアリーナほか	2,700

2 各種集大会の誘致と支援

市内の集会施設を利用し、市内に宿泊することを原則とした県大会規模以上の各種集大会の誘致を図るため、本市で開催された集大会について、各種集大会等誘致開催補助金を交付した。

また、平成18年11月21日から22日に第38回全国商工会議所女性会連合会三重全国大会が県営サンアリーナで開催され補助金を交付した。

(市内での宿泊1人1泊あたり300円の補助)

期 日	集 大 会 名	延参加人員 (人)	延宿泊人員 (人)	会 場	交付確定金額 (円)
4/30	正洲会創立 50 周年記念 吟剣詩舞道大会	1,330	136	伊勢市観光文化会館	40,000
5/20	ドイツ連邦ダンス連盟訪日団公演	710	81	伊勢生涯学習センター	20,000
7/26～27	第 19 回フラワーシップ全国大会	2,900	841	県営サンアリーナ	250,000
9/23～24	第 2 回 J F A 三重ガールズサッカーフェスティバル in 伊勢志摩	500	108	伊勢市朝熊山麓球技場	30,000
9/30～10/1	第 11 回中日本クラブバスケットボール選手権大会	1,501	345	県営サンアリーナ	100,000
10/14～15	神宮奉納 全国生涯野球 伊勢大会	422	167	県営大仏山野球場	50,000
11/11～12	第 2 回 神宮奉納 全国高齢者ラグビー伊勢大会	433	170	朝熊山麓公園芝生球技場	50,000
11/25～31	～心のふるさとに集う～全国レクリエーションダンス伊勢大会	381	155	二見中学校体育館	40,000
12/23～24	第 29 回東海ミニバスケットボール大会	4,150	1,015	県営サンアリーナ	300,000
2/16～17	初詣ママさんバレーボール第 7 回親善交流大会 in 伊勢	175	75	県営総合体育館	20,000
計	10 件	12,502	3,093	-	900,000

旅客誘致受入宣伝事業

1 大都市圏旅客誘致推進事業

マーケットの大きい首都圏（1都7県）を中心に誘致活動を平成 13 年度から実施しているが、更に、政令指定都市圏等において、お木曳行事（一次・二次）の一日神領民の募集を中心に、旅行エージェントや神社庁への誘致活動を展開している。

また、市内高等学校の在京同窓会にも出向き、ふるさと伊勢の誘致宣伝活動を実施している。

2 観光情報発信事業

インターネットを活用して、（社）伊勢市観光協会と共同運営するホームページで、観光情報の発信、動画配信、また効率よく検索できるデータベースの情報充実（市内散策地図・観光資源・歳時記や観光協会の店舗紹介など）、最新情報の更新を実施。

【平成 14 年 3 月開設 平成 19 年 3 月末累計数 882,587 件〔1 日平均 478 件〕（携帯電話からのアクセス件数含む）】

また、観光パンフレット（ホームページと連動した情報を掲載）を観光・物産展、観光案内所、観光客の問合せなどに応じて提供する。（観光政策課からの個人及び旅行エージェント等へのパンフレット発送件数 522 件〔平成 19 年 3 月末現在〕）

3 新聞宣伝広告等による誘致活動

新聞や雑誌の広告を通じて、伊勢市の紹介や施設・イベント等の情報発信を行う。

メディア名	掲載内容	メディア名	掲載内容
毎日新聞	平家の里キャンプ村	雑誌 伊勢人	みずき・お木曳の紹介
雑誌 東海じゃらん	お木曳行事(川曳)・花火大会	聖教新聞	二見七夕・星まつり
伊勢新聞	二見七夕・星まつり	産経新聞	二見七夕・星まつり、伊勢おおまつり、伊勢ヨイ夜ナ
雑誌 NAGI	伊勢おおまつり	日刊スポーツ	伊勢おおまつり
三重テレビ	お木曳行事	わお！ハイウェイマップ	夫婦岩・伊勢神宮・河崎紹介
読売新聞（読売年鑑）	お木曳行事	中日新聞（中部新時代）	お木曳行事
中部読売新聞	お木曳行事	中日新聞	お木曳行事

4 広域観光振興事業にかかる各種協議会への参画

（社）日本観光協会・（社）三重県観光連盟・（社）伊勢志摩観光コンベンション機構・伊勢鳥羽志摩観光連絡協議会・歴史街道推進協議会・（財）伊勢志摩国立公園協会・伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会・伊勢熊野観光連絡協議会・東海地区外国人観光客誘致促進協議会・伊勢志摩地域鳥羽市外国人観光客誘致促進協議会・（財）日本さくらの会・三重県鉄道網整備促進期成同盟会・全国伝統地名（旧国名）市町村連絡協議会・伊勢志摩おもてなし向上協議会・伊勢志摩学生団体誘致委員会

5 全国伝統地名（旧国名）市町村連絡会議

全国の伝統地名（旧国名）を名称とする市町で構成する「全国伝統地名（旧国名）市町村連絡会議（昭和 61 年 11 月 6 日設立、当初 20 市 16 町、現在 15 市 5 町）」で、旧国名を活用し、加盟市町の情報交換、ホームページの作成、相互支援等、様々の活動を通じて、観光客の誘致を行っている。また、7月の豪雨により被災された、さつま町への災害支援金の支給活動も実施した。観光パンフレットスタンドの設置も重要な情報発信事業として継続し行った。

6 「はじまりのまち伊勢」誘客戦略推進事業

従来は観光パンフレットやインターネットを通じた情報発信が取り組みの中心であったが、昨年度に引き続き三重県（県観光振興プランに基づく事業）と共同で伊勢の観光資源を十分に活用した観光商品の開発、旅行会社向けの集客パンフレットを作成した。特に、18年度は「お木曳行事」を前面に出し、平成 25 年の御遷宮に向けて、河崎や二見などの街並み歩きを含め、有機的な情報発信、誘客活動を展開した。

旅行会社名	内容	部数	地区
(会員組織による企画・販売)			
農協観光 (全国)	お木曳集客パンフレット	11 万部	全国
農協観光 (三重)	三重県農協用パンフレット	4 万部	三重
(パンフレットの企画・販売)			
J T B、日本旅行 近畿日本ツーリスト 名鉄観光、他	定期観光バス&タクシーパンフレット (上期版) A 4 ・ P 8	5 万部	全国
J T B、日本旅行 近畿日本ツーリスト 名鉄観光、他	定期観光バス&タクシーパンフレット ダイジェスト版 (上期版) A 4 ・ P 2	10 万部	全国
名鉄観光	「お伊勢さんとおきたまさん」 A 4 ・ 両面 ・ 4 C	2 万部	中部
名鉄観光	名鉄観光メインパンフ掲載	4 万部	中部
名鉄観光	「おでかけシティ伊勢」 A 4 ・ 2 P ・ 4 C	5 万部	中部
三交トライパル	「おでかけシティ伊勢」 A 4 ・ 2 P ・ 4 C	5 万部	中部
市民生協	「おでかけシティ伊勢」 A 4 ・ 2 P ・ 4 C	5 万部	中部
(旅行商品の販売促進)			
J T B、日本旅行 近畿日本ツーリスト 名鉄観光、他	全国旅行会社「平成のおかげ参り」	共通版下デ ータ作成	全国
J T B、日本旅行 近畿日本ツーリスト 名鉄観光、他	定期観光バス&タクシーパンフレット (上期版)	共通版下デ ータ作成	全国

7 伊勢志摩キャンペーン事業

10 月から半年間、三重県・伊勢志摩地域・近畿日本鉄道 (株) と共同して「伊勢志摩キャンペーン」を実施し、東京・大阪・名古屋 地区において、お木曳行事を中心とした伊勢志摩の観光 P R を行った。また、ガイドブック (秋号 15 万部・冬号 15 万部)、チラシ (秋号 15 万部・冬号 15 万部)、ポスター (B 1 3,000 部・B 2 3,000 部・B 3 56,000 部) を作成し、近鉄沿線や旅行会社等へ配布して、伊勢志摩地域の情報発信及びエージェントとタイアップによる誘客を行った。

8 伊勢志摩学生団体誘致委員会

国内・海外からの学生団体学生団体旅行等を伊勢志摩地域へ誘致することを目的に設立 (平成 18 年 4 月 25 日設立、3 市 (伊勢市・鳥羽市・志摩市) 1 町 (南伊勢町)、三重県、観光協会、商工会議所、宿泊施設、観光施設、旅行会社等・55 団体構成)。自然学習、体験学習の宝庫である伊勢志摩を広域的に紹介した、学生団体誘致用旅行ガイドブック「伊勢志摩に、おいさないさあ」を 1,500 部作成し、旅行会社を中心に配布すると共に、首都圏の中学校や関西方面の小中学校を中心に誘致宣

伝活動を展開した。

9 平成のお蔭参り事業

昨年が宝永のおかげ参り(1705年)から300年として、おかげ参り300年祭事業を実施したことに続き、平成18年度は「平成のお蔭参り事業」として情報発信と誘客を図るため、ポスター・チラシの作成・配付、FM三重での事業宣伝、大阪キャラバン、プレス通信の発行等、既存イベントも取り込みながら様々の事業を展開した。また、豊橋市制100周年を記念して、ええじゃないか発祥の地、豊橋市との「海の道」を復活すべく、豊橋シンポジウムを開催した。さらにイオン明和店でのPR事業、リレー講座・伊勢まで歩講を催行し、お蔭参りを再現した。お木曳行事(第一次・第二次)の一日神領民の募集を周知すると共に、一定期間(5月~10月)集中して全国に情報発信を図った。

10 第48回自然公園大会三重県大会

環境省が主唱する「自然に親しむ運動」の中心行事として、人と自然の関係について考え、自然を守り、人と自然との豊かなふれあいを推進するため、自然公園大会(昭和34年から毎年開催)三重県大会を11月8日(水)・9日(木)に伊勢志摩国立公園内各地を会場に実施した。

市内で実施した野外活動(ウォーキング)

開催日:11月9日(木)

コース名	参加人数(人)
平成のお伊勢参りコース	6
夫婦岩浜参宮コース	21
いきものふれあい体験コース	38
お伊勢さんウォーク~美しい日本の歩きたくなる道500選を歩くコース	158
計 4コース	223

11 ふるさと著名人発信事業

ここ近年、本の出版や朗読会が行われるなど若者の心を捉え、関心を呼んでいる伊勢出身の詩人「竹内浩三」氏の生誕85周年を記念して事業を実施した。まず、観光資源としての掘り起こしを行い、竹内浩三氏を題材とした講座を開催し、その集大成として地域をアピールするためのシンポジウム、そしてお木曳行事をテーマにした短編ビデオコンテストを開催した。

(1) 短篇ビデオコンテスト

伊勢志摩フィルムコミッションと共催で第62回神宮式年遷宮「お木曳行事」をテーマに1作品5分以内の短編ビデオを募集した。募集期間は年5月5日(金)~9月29日(金)

(2) 「天性の詩人竹内浩三を知ろう-詩とおはなし-」

伊勢出身の詩人・竹内浩三は感性溢れる才能を発揮して、詩や手紙、日記、小説、マンガシナリオ等々数々の作品を残し、近年は天性の詩人(作家)として高く評価されている竹内浩三について様々な観点から話をした。また、詩の朗読も行った。

参加者数 230 名。

	開催日	講師 / テーマ
第 1 回	8 月 18 日(金)	森節子氏(元・中学教員、五月会主宰) / 「竹内浩三を知る」
第 2 回	9 月 19 日(火)	藤田明氏(元・高田短期大学教授) / 「竹内浩三の詩の魅力」
第 3 回	10 月 18 日(水)	吉村英夫氏(映画評論家) / 「竹内浩三と映画」
第 4 回	11 月 24 日(金)	高岡庸治氏(元・本居宣長記念館館長) / 「竹内浩三が世に出るで森節子氏 / 「竹内浩三をめぐる人々」

(3) 小津安二郎記念「第 3 回伊勢映画フェスティバル」(12 月 16 日)

第 1 部では第 3 回短篇ビデオコンテストの入賞発表・表彰・上映を行った。また、審査委員長の伊勢真一映画監督を招き、作品の総評をしてもらった。応募総数は 19 作品(市内 10 作品、県内 7 作品、愛知県 1 作品、広島県 1 作品)。

第 2 部では竹内浩三生誕 85 周年記念シンポジウムで竹内浩三に関係する方々を招き、講演会やパネルディスカッション、詩の朗読などを行い、竹内浩三の隠れた魅力に迫った。観客数約 200 名。

滞在型旅客誘致推進事業関係

1 散策ルートづくり事業

「伊勢」と世界遺産の「熊野」を結びつけることによって、本来の「道」の特性を活かした魅力づくりを行う。単なる集客人数を目的とするのではなく、連携したイベントを実施することによって、「平成の伊勢路参詣道」のコースづくりを行うとともに、伊勢路の魅力を掘り起こし、全国への情報発信を行った。

行 事 名 : 「熊野古道伊勢路踏破りレーウォーク」

開 催 日 : 10 月 21 日(土)

コ ー ス : 伊勢神宮内宮 ~ 玉城町田丸

参加者 : 169 名

実施主体 : 熊野古道伊勢路踏破りレーウォーク伊勢部会 (主管 : 伊勢市観光協会青年部)

観 光 事 業 課

平成 18 年は、平成 25 年に控えた第 62 回神宮式年遷宮の行事の一つで、伊勢市の無形民俗文化財である「お木曳行事（第一次）」が 5 月から 7 月に地元市民及び全国から応募された一日神領民により、厳粛且つ盛大に執り行われた。また、お木曳行事を奉祝して、愛媛県西条市よりだんじり 32 基が来勢し、官民一体の受入により盛大に開催された。

三重県全体の観光入込み客数は 3,292 万人で、前年に比べ 144 万人(4.6%)の増加となっており、県内全域で取り組んだ、(社) 三重県観光連盟の三重「食」紀行～三重の街道をゆく～観光キャンペーンの効果などが考えられている。

当市における平成 18 年の伊勢神宮内宮・外宮の入込み客数は、629 万人で前年と比べて約 64 万人(11.2% 増)の増加となっている。この要因としては、第 62 回神宮式年遷宮に向けた各界の様々な取り組みや、お木曳行事がはじまったこと、三重県・伊勢志摩地域・近畿日本鉄道(株) 等と共同で「伊勢志摩キャンペーン」を実施した効果が考えられる。

近年、観光を取り巻く環境は、旅行ニーズの多様化・小グループ化への傾向が顕著になっており、時代の変化に対応した観光振興策が期待されている。

もてなし心醸成事業関係

1 接遇研修事業（伊勢もてなし塾）

平成 15 年度より伊勢市観光協会や各種団体と共催で、「もてなし心の醸成」や「伊勢の伝統文化の継承」等のために一般市民向けに開催している。

開催日	テーマ及び内容	参加人数
3月14日(水)	「あなたが主役のまちづくり」 高田 弘子 氏 (内容) 自分の住んでいるまちの案内、やさしいまちづくり、説明などについて同じテーマで3回のシリーズとした参加型の講座を行った。	25人
3月20日(火)		16人
3月28日(水)		21人

2 お伊勢さん観光ガイドの育成

外宮前案内所ではボランティアガイドが常時待機し、随時案内をする体制を整え、案内所の充実を図っている。また、ガイドの育成及び組織強化を図るため講習会・研修会を開催し、ガイドの質の向上を図る。ガイド登録数は 42 名(男性 23 名、女性 19 名)で、うち外国語のガイドは 5 名。

ボランティアガイドによる月別の案内件数及び案内人数

(上段：件数、下段：人数〔 〕はそのうち外国人人数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
108	138	100	104	125	148	144	163	83	90	137	167	1,507
684 〔0〕	784 〔0〕	527 〔0〕	376 〔0〕	420 〔0〕	661 〔1〕	1,024 〔1〕	932 〔2〕	477 〔0〕	228 〔0〕	558 〔0〕	914 〔0〕	7,585 〔4〕

3 年末年始旅客の受入対策

平成 18 年度から、地元 15 団体による伊勢おもてなし会を設立し外宮前、神宮参道、伊勢市駅前広場を中心にかがり火、神宮参道ライトアップ、ふるまい等で初詣客におもてなしをした。

伊勢市観光協会としては、初参りの参拝客の観光案内を含めた接遇及び宇治浦田駐車場の管理を行い、大晦日に内宮、外宮で年越餅 6,000 個の贈呈を行った。

観光一般事業関係

1 観光案内所の運営

外宮前及び宇治山田駅構内観光案内所における運營業務を（社）伊勢市観光協会に委託した。

委託金額 6,708,000 円（契約期間 平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

(1) 外宮前観光案内所の利用状況（すべての案内件数・下段はその内外国人案内件数）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
2,601	4,445	2,420	2,596	3,711	3,136	3,028	3,058	2,037	5,066	3,212	3,905	39,215
162	120	92	181	160	71	137	112	57	37	61	130	1,320

(2) 宇治山田駅構内観光案内所の利用状況（すべての案内件数・下段はその内外国人案内件数）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
1,769	2,349	1,300	1,684	2,111	1,843	2,007	1,936	1,267	2,502	1,969	2,223	22,960
95	60	32	70	53	45	79	56	23	17	34	33	597

2 （社）伊勢市観光協会への活動支援

平成 4 年に社団法人化された伊勢市観光協会は、昭和 25 年に宇治山田市観光協会として設立して以来、行政と営利を目的とする観光関係事業者を中心とした民間企業との中間的な存在で、旅客誘致に係るイベント実施や観光宣伝など、様々な分野で弾力的・柔軟的に活動している。

H18 年度は、財政基盤の強化と事業展開の推進のため財政的な支援として、400 万円を助成した。

旅客誘致受入宣伝事業

1 明かり行事事業

夜のまちを賑やかにしようと、伊勢おはらい町会議を中心に「伊勢ヨイ夜ナ」実行委員会を一昨年設立し、10 月 27 日(金)～29 日(日)の 3 日間、午後 5 時～午後 8 時 30 分まで、伊勢神宮内宮前おはらい町界隈において、「伊勢ヨイ夜(ヤ)ナ」を開催した。

本事業は、市民参加型行事として、ヨイ夜ナサポーター（ロウソクカップの設置・撤去ボランティア）を広く募集した結果、3 日間で 164 名の参加があった。

期間中は、内宮前や五十鈴川河川、おはらい町界隈、宇治館町内に約 5,000 個のロウソクカップを設置したほか、五十鈴川の内宮宇治橋から 200m ほど下流にある「えぼし岩」一帯の川面のライトアップも実施した。また、伊勢市内外のミュージシャンがアコースティック音楽を中心に生演奏

し来場者をもてなした。さらに内宮にも協力いただき夜間特別参拝も実施し3日間で123名が参加した。

また、会場内4か所でスタンプラリー「ミステリー・ヨイ夜ナ」を実施し、期間中228名が参加した。観客数:16,500人

外宮地区においては、8月1日(火)に開催された「第9回外宮さんゆかたで千人お参り」に併せ、明かり事業の一環として、外宮にぎわい会議が中心となって作成した、「神話をテーマとした竹と和紙で作られた灯籠」を、神路通りに約800個、神宮参道に約1,000個を並べ、お祭りの雰囲気盛り上げた。参加数:2,300人

観光行事振興事業関係

1 第54回伊勢神宮奉納全国花火大会【平成18年7月15日(土)】

北は秋田県から南は鹿児島県の全国各地から選抜された50の花火師が参加する競技花火大会で、打上花火の部50組、スターマインの部10基の2部門で競われ、神宮奉納ならではの格調、質ともに全国トップレベルの花火玉約9,000発が打ち上げられた。

平成18年度は、第62回神宮式年遷宮・お木曳行事記念として開催され、スターマインの部においては、音楽スターマインを導入し、大会の充実を図った。また大会の最後に、記念スターマインとして、神宮式年遷宮イメージソング「鎮守の里(作詞・作曲:藤井フミヤ)」に合わせたメロディー付きスターマインを放揚し、大会に色を添えた。

また、平成14年から続けている、会場内のエコナビゲートボランティアを今回も実施し、NPO団体の協力により112名のボランティアが、ゴミの持ち帰り及び分別ナビゲート活動を行い環境に配慮した大会運営に努めた。

観客数 20万人

2 春まつり【平成18年4月1日(土)~10日(月)】

日本のさくら名所百選の宮川堤において、(社)伊勢市観光協会との共催、宮川保勝会の協力により、夜桜のライトアップとぼんぼりで花見客を迎えた。

4月12日(水)13日(木)に「第2回日本観光交流・伊勢会議及び第39回観光祈願祭」を開催し、2日間で104名が参加した。

3 伊勢楽市

【第14回:平成18年4月8日(土)・9日(日)、第15回:11月11日(土)・12日(日)】

平成8年度から(社)伊勢市観光協会と共催で、滞在型観光による伊勢市駅前の活性化と地場産業の振興を図るため、神宮参道を中心に、伊勢市及び近隣市町村の地場産品、農林水産物、工芸品の販売及びPRを「市」という形で実施した。

4月、80業者(138ブース)来場者 135,000人

11月、78業者(139ブース)来場者 115,000人

また、(社)伊勢市観光協会青年部と共同で、9月26日(火)27日(水)、大阪市千里中央駅前において、三重県大阪事務所・伊勢志摩観光コンベンション機構の支援を得て、お木曳行事や伊

勢楽市を中心とした観光PRを行った。

民俗伝統行事推進事業

1 民俗伝統行事推進事業

平成 25 年の第 62 回神宮式年遷宮の斎行に向け、20 年に一度のお木曳行事（平成 18 年・第一次）が幕開けとなり、伊勢市の無形民俗文化財「お木曳行事」の関連行事を実施した。

(1) お木曳出初式

第一次お木曳行事の実施に先立ち、平成 18 年 4 月 1 日（土）、奉曳の無事を祈願するため「お木曳出初式」を奉曳本部及び奉曳団連合会等 120 人で実施し、伊勢商工会議所で式典を行った後、二見興玉神社で浜参宮を行い、外宮・内宮を参拝した。

(2) お木曳初式（役木曳）

御正殿及び別宮の代表的な御用材をゆかりの奉曳団が曳くお木曳初式（役木曳）を 4 月 12 日（水）・内宮領（川曳）で、4 月 13 日（木）・外宮領（陸曳）で行った。

4 月 12 日（水）・内宮領（川曳）

用材	団名	用材	団名
内宮正宮	進修・二軒茶屋、修道、四郷	月読宮	四郷
荒祭宮	二見（江、松下、茶屋、三津）	倭姫宮	大湊・進修・修道・二軒茶屋・二見
風日祈宮	二見（山田原、溝口）		
参加者 7 団・1,700 人			

4 月 13 日（木）・外宮領（陸曳）

用材	団名	用材	団名
外宮正宮	小川町、河崎連合（旭通・南側）、中島町	月夜見宮	八日市場町
多賀宮	本町	風宮	河崎六ヶ町
土宮	中島連合（出雲町・京町）		
参加者 7 団・2,400 人			

(3) お木曳・一般曳

外宮領・陸曳

5 月 5 日（金）から 6 月 4 日（日）までの各祝・土・日曜日（11 日間）、宮川河畔～県道伊勢南島線～外宮北御門～工場まで 58 団・45,800 人により奉曳した。

内宮領・川曳

7 月 22 日（土）から 30 日（日）までの各土・日曜日（4 日間）、三重県体育館裏～五十鈴川～宇治橋～参集殿前まで 19 団・14,800 人により奉曳した。

一日神領民・陸曳

5 月 6 日（土）から 6 月 4 日（日）までの各金・土・日曜日（14 日間）、宮町交差点～宮町通～県道伊勢南島線～外宮北御門まで一日神領民 34,600 人が参加して奉曳した。

(4) お木曳行事 第一次 上り参宮

お木曳行事第一次の無事終了をご報告・感謝するため、8 月 10 日（木）、上り参宮を実施し、

両宮参拝後、内宮参集殿において第一次終了式を奉曳本部・奉曳団連合会役員 110 人で行った。

(5) 「六本木ヒルズお木曳」

第二次お木曳行事を全国へ情報発信するため、2月3日(土)・4日(日)、「六本木ヒルズお木曳」を六本木ヒルズ、六本木けやき坂通り、六本木ヒルズアリーナで実施した。4日(日)にお木6本を積んだ奉曳車を六本木ヒルズの住民など約350名が参加し奉曳した。

また、3日(土)・4日(日)には「伊勢の国観光物産展」を開催し、伊勢志摩をはじめ県内の物産及び伝統工芸をPRした。観客数は、3日が約7千人、4日が約1万人で、全国発信のPR効果はテレビが13番組、新聞が49紙、雑誌が5誌に掲載されるなど1億7千万円相当の広告費となった。

(6) 情報発信・市民啓発

お木曳行事の意義、参加奉曳団、日程等をわかりやすく解説したシリーズ「お木曳行事」のチラシを10回、計47,000部発行し、市民への啓発及び観光客等への情報発信を行った。

(7) 奉曳団未結成地域への対応

市内の奉曳団未結成地域に対し、お木曳行事参加について働きかけを行っていたところ、第一次お木曳行事に小俣町奉曳団(小俣・明野)、北浜連合奉曳団及び光の街奉曳団が新規に結成し奉曳に参加した。また、第二次の奉曳に向け宮沼連合奉曳団が結成した。

2 伝統芸能継承事業

平成14年度、伊勢音頭の普及を目的に、伊勢音頭保存会の協力により地方(じかた)初心者を対象に「伊勢音頭地方養成講座」を開講した。約5ヶ月をかけ、唄、太鼓、鉦(かね)、三味線の練習を行なった。年2回(前期、後期)実施し、平成18年度後期は第9期生14名で行い、1期生から延べ113名となった。

《受講者数》

平成14年度(1期生) - 9名 - 、(2期生) - 9名 -

平成15年度(3期生) - 9名 - 、(4期生) - 9名 -

平成16年度(5期生) - 19名 - 、(6期生) - 14名 -

平成17年度(7期生) - 20名 - 、(8期生) - 10名 -

平成18年度(9期生) - 14名 - 、(18年度は後期のみ実施)

3 お伊勢大祭【平成18年10月14日(土)~17日(火)】

今年で112年目を迎えた伊勢おおまつりは、14日(土)にはマーチングや踊り、15日(日)には華々しい伊勢音頭、勇壮な神輿、お木曳き車、そして夜には提灯などで装飾された飾り車などのパレードや手筒花火が実施された。

また、平成18年は初穂曳と神嘗祭奉祝事業も同時開催され、15日(日)は外宮領で初穂をお木曳車に載せ、賑やかに練りながら外宮へ曳きいれる陸曳(初穂曳)を行い、神嘗祭奉祝事業として徳島県の阿波踊り、山形県の花笠踊り、沖縄県のエイサー、大阪府の岸和田だんじり、富山県の越中おわら風の盆、志摩市浜島町のじゃこっぺ踊りなども来勢した。

そして、16日(月)内宮領では初穂を木ゾリに載せ五十鈴川を溯り内宮へ曳きいれる川曳(初

穂曳)、そして伊勢音頭や宇治大神輿などの諸行事を併せて実施した。

観客数延べ 285,000人 参加団体 194団体 参加人数 13,581人

4 西条だんじり受入【平成 18 年 11 月 4 日(土)】

平成 25 年に斎行される第 62 回神宮式年遷宮のお木曳行事を奉祝して西条だんじりが来勢した。伊勢市民と西条市民の交流を機会に、両市への集客と活性化に向け、官民一体で構成した西条だんじり受入実行委員会を設け、受入を行い西条市民をもてなした。

過去にも数回に渡り来勢されているが、今回は過去最大のだんじり 32 基、約 1,400 人が伊勢の地を訪れ、20 万人の観衆を集めた。宇治浦田駐車場を起点におはらい町 内宮 (御木本道路) 外宮 神宮参道 伊勢市駅前 新道・高柳商店街のコースを約 8 時間かけて練り歩いた。

協力・協働による観光関連事業関係

1 観光行事等への後援

市内開催の各種観光行事等へ後援し、周知宣伝等の協力を行った。

開 催 日	名 称
18. 5. 1(月)~21(日)	朝熊山つつじ祭
5. 5(金)	倭姫宮春の大祭奉祝行事
5.27(土)~28(日)	第 22 回どんどこ祭り
6.18(日)	お陰参りとええじゃないか 豊橋シンポジウム
6.24(土)~25(日)	25h 伊勢志摩舞祭り
6.24(土)~7.13(木)	第 21 回伊勢朝熊岳金剛證寺「あじさい祭」
6.26(月)~27(火)	第 4 回神宮奉納グラウンド・ゴルフ大会
7.26(水)	第 19 回フラワーシップ全国大会 三重伊勢大会
8.1(火)	第 9 回外宮さんゆかたで千人お参り
8.13(日)	講演会「遷宮と伊勢の町衆」
9.3(日)	第 1 回音じゃい祭り
9.9(土)~10(日)	第四回神恩神謝 日本太鼓祭
9.10(日)	第 51 回ミス伊勢志摩選考会
10.6(金)	観月会
10.14(土)~17(火)	奉祝神嘗祭
10.14(土)~17(火)	お伊勢大祭写真コンテスト
10.21(土)	第 9 回伊勢の伝統の能楽まつり
11.1(水)~15(水)	猿田彦神社七五三祭
11.5(日)	秩父宮賜杯第 38 回全日本大学駅伝対校選手権大会
11.5(日)	「倭姫宮秋の大祭」奉祝行事
11.11(土)~12(日)	第 2 回神宮奉納全国高齢者ラクビー伊勢大会
11.26(日)	第 25 回伊勢志摩中日ウォーキング大会
12.7(木)~14(木)	伊勢のお木曳写真展
12.17(日)	第 18 回伊勢民踊まつり

12.23(土)~24(日)	第29回東海ミニバスケットボール大会
12.28(木)~19.1.1(月)	第34回伊勢迄歩講
19.3.11(日)	一色能

交 通 政 策 課

三重県交通災害共済事業

三重県交通災害共済条例により、交通事故による災害を受けた者の当面の窮状を救済し、その生活の安定に寄与するとともに、交通事故の防止を喚起するため、市の受託事業として三重県交通災害共済の加入及び見舞金の給付に関する事務を行った。

1 加入資格

- (1) 県内市町の住民基本台帳に記録され、または、外国人登録している方
- (2) 前記に掲げる方の子供で県外の学校等に在学している方
- (3) 県外の居住者で、県内にある事業所に勤務し、または学校等に在学している方

2 掛金額（年額 1 人あたり）

一般.....500 円 生活保護受給者.....200 円

3 加入状況の推移

区 分	18 年度	17 年度	16 年度
加入者数	39,895 人	42,314 人	41,342 人
加 入 率	29.7%	31.4%	42.0%

（注）伊勢市の加入期間は 1 月 1 日～12 月 31 日である。

4 見舞金給付状況の推移

等級	見舞金額	18 年度		17 年度 (11～3 月)		17 年度 (4～10 月)		16 年度	
		件	千円	件	千円	件	千円	件	千円
1	千円 1,200	1	1,200	4	4,800	3	3,600	5	6,000
2	1,200	-	-	-	-	1	1,200	1	1,200
3	800	-	-	-	-	-	-	-	-
4	600	-	-	-	-	-	-	-	-
5	400	-	-	-	-	-	-	-	-
6	200	-	-	-	-	-	-	-	-
7	(注)	-	-	-	-	-	-	-	-
8	150	3	450	5	750	1	150	1	150
9	90	1	90	-	-	-	-	1	90
10	80	8	640	3	240	2	160	8	640
11	55	5	275	-	-	2	110	6	330
12	45	9	405	9	405	8	360	14	630
13	35	44	1,540	15	525	24	840	40	1,400
14	25	129	3,225	79	1,975	63	1,575	95	2,375
追給	-	2	2,100	1	1,120	-	-	-	-
計	-	202	9,925	116	9,815	104	7,995	171	12,815

（注）7 等級は、3 等級から 6 等級までの等級に該当する障がい者が 2 以上存する場合、重い障が

いに該当する等級の1級上位の等級の額を給付する。

交通安全推進事業

1 交通安全啓発・指導の推進

(1) 交通安全啓発

交通安全運動期間中の活動

ア 交通安全運動実施時期

春の全国交通安全運動	4月6日(木)～4月15日(土)
夏の交通安全県民運動	7月11日(火)～7月20日(木)
秋の全国交通安全運動	9月21日(木)～9月30日(土)
年末の交通安全県民運動	12月11日(月)～12月20日(水)

イ 交通安全運動期間中の活動

a 運動初日の早朝街頭指導

交通安全運動初日に、各関係団体と連携して早朝街頭指導を実施した。

b 大規模店舗等において店内放送の実施

ジャスコ伊勢店及びララパークにおいて店内放送を実施し、運動を広報した。

c チラシ啓発物品の配布

市内のガソリンスタンド5店舗でチラシ及び啓発物品(ポケットティッシュ等)各500点を配布した。

d 横断幕等の掲出

のぼり旗・・・市役所、伊勢総合病院等 約100本

懸垂幕・・・市役所

横断幕・・・岩淵1丁目(宇治山田駅前)、一志町(厚生小学校前)

e C A T V文字放送での交通安全啓発

(2) 早朝街頭指導の実施

毎月11日の交通安全の日に、早朝街頭指導を実施し、通学路や交差点における交通事故防止を図った。

伊勢市役所部課長級(143名)

交通安全母の会(約5,000名)

交通安全協会員(約350名)

2 委託事業等

当市が、委託事業・交付金・負担金を支出している交通安全推進団体の活動状況は、次のとおりである。

(1) 委託事業

ア 伊勢市交通安全都市推進協議会

伊勢市の交通安全条例に基づき、伊勢市内での交通事故防止を図るため、交通安全啓発活動を積極的に推進した。主な活動状況は、次表のとおりである。

実施日	内 容	備 考
18.9.27 18.10.4 18.10.11 18.10.18 18.10.25	高齢者の交通事故を防止するため、高齢運転者実技研修会を開催した。参加者は、構内コースを運転走行するなど、安全な運転方法を体験研修し、交通安全意識が高揚された。	開催場所 三重県南部自動車学校 実施回数 5回 参加人員 77名
19.3.10 (表彰式) 19.3.16~26 (展示)	児童の交通安全意識の高揚を図るため、市及び市教育委員会主催の、第36回伊勢市児童交通安全図画ポスター展を後援した。優秀作品の表彰式・展示を行い、来訪者等への交通安全啓発活動に活用した。	応募総数 932点 入賞作品 39点 入選作品 150点 展示場所 ララパークSC
年度中	薄暮及び夜間の自転車や歩行者の交通事故防止のため、夜光反射材等を購入し、各種講習会等において配布し、着用促進・交通安全意識の高揚を図った。	反射シール 1,500枚 反射キーホルダー 1,500個 反射手提げバック 100個 ポケットティッシュ 3,000個

(2) 負担金事業

ア 伊勢・度会地区交通安全対策協議会

伊勢市と度会郡の3町及び伊勢警察署で結成し、交通安全教育活動、各季の交通安全運動期間中の交通安全啓発活動を行い、交通事故のない伊勢度会地区の実現を図った。主な活動は、次のとおりである。

セーフティー・スクールレディによる交通安全講習

幼 児	2,255人	25回	(1,932人 21回)
小学生	4,348人	21回	(2,936人 10回)
高齢者	771人	19回	(731人 18回)
キャンペーン等	2,230人	19回	(2,230人 19回)

()内は伊勢市分の内数

交通安全シルバーサポート隊による啓発活動

16地区(市内13地区)において、主として歩行中や自転車乗車中の高齢者等に対し積極的な声かけを行い、夜光反射材等の交通安全啓発品を直接貼付、もしくは配布した。

(3) 交付金事業

市内小学校・幼稚園・保育所単位で構成される交通安全活動推進団体に対し、交通安全活動推進事業交付金を交付し、交通事故のない地域づくりを支援した。

交付団体数 35団体(小学校22校・幼稚園3園・保育所10所)

(4) 伊勢市交通安全母の会

会報「あんぜん」の発行、伊勢おおまつり交通安全パレードへの参加、各交通安全研修会へ

の参加等、交通事故のない安全な地域社会の実現を図った。

伊勢市交通安全母の会加入状況

(単位：人)

進修小	修道小	有緝小	早修小	中島小	明倫小	厚生小	神社小
154	302	443	177	269	350	365	293
大湊小	浜郷小	宮山小	豊東小	豊西小	東大淀	城田小	四郷小
157	281	245	98	176	120	325	170
上野小	明野小	小俣小	合計 19 団体 4,962 人				
99	418	520					

3 放置自転車対策

(1) 放置自転車撤去廃棄

駅周辺の美観の保持、駐輪場の有効利用、道路の安全通行確保を図るため、長期放置自転車の撤去廃棄を行った。

放置自転車撤去廃棄台数 合計 874 台 (年 3 回分)

6 月 29 日実施	廃棄 556 台
12 月 7 日実施	廃棄 253 台
2 月 22 日実施	廃棄 65 台

(2) 駐輪場の整理

駅前駐輪場及び道路駐輪車両の整理を社団法人伊勢市シルバー人材センターに委託し、駅周辺の美観の保持、駐輪場の有効利用、道路の安全通行確保を図った。

伊勢市駅北・西駐輪場、宇治山田駅第 1・第 2・第 3 駐輪場等

4 伊勢市児童交通安全図画ポスター展の開催

市内小学校から、交通安全図画ポスターを募集し、応募の 932 点の中から、優秀作品 39 点及び入選 150 点を選出し、表彰及び展示を行った。

表彰式 3 月 10 日 (土) ハートプラザみその

展示 3 月 16 日 (金) ~ 3 月 26 日 (月) ララパーク

交通対策推進事業

1 伊勢地域観光交通対策推進事業

平成 17 年 8 月に、伊勢地域の観光振興を図り、かつ地域住民が安心して生活できる環境を整備するため、伊勢地域周辺における交通渋滞を解消することを目的とした「伊勢地域観光交通対策協議会」を発足し、伊勢地域の観光交通対策を行っている。

負担団体	事業内容	負担金額
	<p>1. パーク & バスライド サンアリーナ臨時駐車場 ~ 外宮・内宮間にシャトルバスを運行させ、正月時期における外宮・内宮周辺の交通渋滞の解消・緩和を図った。 平成 18 年 12 月 31 日 ~ 平成 19 年 1 月 3 日</p>	

伊勢地域観光交通 対策協議会	<p>2.初参り交通対策 外宮・内宮・二見周辺の初参り交通対策として、来訪者交通の円滑な移動を図るため、看板の設置、警備員による車両誘導や臨時駐車場の運営を行った。 平成 18 年 12 月 31 日～平成 19 年 1 月 8 日 平成 19 年 1 月 9 日～平成 19 年 1 月 31 日の土日</p> <p>3.ゴールデンウィーク交通対策 ゴールデンウィーク期間中の内宮周辺交通対策として、看板の設置、警備員による車両誘導、臨時駐車場の運営を行った。 平成 18 年 4 月 29 日～平成 18 年 5 月 7 日</p> <p>4.その他 土日祝祭日の内宮周辺交通渋滞対策として、宇治浦田交差点に警備員を配置し、車両誘導を行った。 平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日の土日祝祭日</p>	7,000,000 円
-------------------	--	-------------

路線バス運行維持事業

事業者による運行維持が困難なバス路線の運行を維持し、地域住民の交通手段を確保した。

ア 朝熊線（廃止路線代替バス） 2,098,950 円

三重交通(株)の運行廃止対象路線であるため、三重県の市町村自主運行バス等維持費補助金の適用を受け、経常損益を負担し、運行を維持した。

イ 沼木線（不採算路線バス） 5,113,000 円

三重交通(株)による運行維持が困難であるため、経常損益を負担し、運行を維持した。

ウ 玉城線（第3種生活路線バス） 2,533,000 円

三重交通(株)による運行維持が困難であるため、第3種生活路線維持費補助金の適用を受け、経常損益の1/2を伊勢市と玉城町が系統km程による按分で負担し、運行を維持した。

伊勢湾海上アクセス推進事業

交通システムの見直し整備の一環として、伊勢湾海上アクセスの充実を図ることにより、三重県南部地域と中部国際空港を結ぶ海の玄関口としての機能を果たすと共に、伊勢志摩地域を訪れる来訪者の利便性及び周遊性を高め、経済効果と地域活性化を図るための調査・測量等を行った。

(1)委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
神 社 港 地 内 ほ か	伊勢湾海上ア クセス社会実 験推進事業委 託	中部国際空港と伊勢市を結 ぶ海上アクセスを充実し、来 訪者の周遊性を高めること による地域活性化の効果の 検証	円 8,016,750	18. 7.14	18.11.30

神地ほ	社 港内か	伊勢湾海上アクセス需用予測調査業務委託	伊勢湾航路の利用客及びその他観光客等の意識調査を行い、本航路を活用し伊勢志摩を訪れる来訪者の周遊性を高めることによる地域活性化の効果の検証	円 1,291,500	18.7.20	19.1.31
下地	野 町内	(注) 海上アクセス周辺施設測量業務委託	測量業務一式	1,590,750	19.2.26	19.5.1
下地	野 町内	(注) 海上アクセス施設整備に伴う地質調査業務委託	地質調査業務一式	1,168,650	19.3.13	19.5.1
下地	野 町内	(注) 海上アクセス周辺施設設計業務委託	設計業務一式	5,106,150	19.3.16	19.6.8
下地	野 町内	(注) (注1) 旅客ターミナル建築設計業務委託	W造平屋建 331.0 m ²	3,029,250	19.4.3	19.7.31
計		6 件	-	20,203,050	-	-

(注) 平成 19 年度へ繰越

(注 1) 建築住宅課施行